

②吉川新駅、武蔵野操車場跡地開発への市民参画促進。③浸水対策。加藤平沼線から南中学校へかけて（栄町一区、モアステージ、保三・四区）の被害軽減。④介護保険計画での、地域ケア・ネットワークづくり等であります。

地方交付税等、国財源の抑制や景気後退が進む中、市政は今後、増々厳しくなると考えられる一方、新駅をはじめとする課題は多くあります。

市は、行財政改革のさらなる推進、選択と集中による効率的行政運営に努めるとともに、国の緊急財政出動に連動した事業展開により、市民生活向上へ邁進されることを期待し、賛成の討論とします。

賛成討論

民主党

安田 真也

日本経済は、百年に一度の経済危機の真ただち中におります。市民は、明日の生活さえままならないという不安に日々さいなまれ、不況という眼には見えない大きな怪物にしがき苦しみながら立ち向かっています。

平成21年度吉川市一般会計予算は総額155億8千700万円。県内他市では前年度比減もある中で、本市においては7.4%増の予算となり、

市長の不況に立ち向かう、市民生活を守るといふ強い信念が感じられます。予算案の中で中学卒業まで入院にかかる子ども医療給付費を拡大すること、妊婦健康診査を14回に拡充すること、認定農業者支援対策事業費補助金の交付、緊急不況対策事業費補助金の交付など、評価できる点が多い予算編成であります。

しかしながら、都市計画税導入にあたっては昨今の経済状況を踏まえ、市民への配慮も必要だったのではと考えます。経済が厳しい今だからこそ公の精神を忘れず、優しい手を差しのべる気持ちで行政運営に臨まれるようお願いを致します。

市民生活に影響を及ぼす難題が山積しておりますが、大変な今だからこそ、文字通り大きな変化への好機と捉え、一丸となって荒波を乗り越えるべきと考えます。

非常に難しい舵取りであり

ますが、市民生活を守り、この吉川のまちをより一層発展させて次世代へ引き継いでいけるようお願いを申しあげ、賛成討論と致します。

賛成討論

自由民主党吉川市議員団

日暮 進

平成21年度吉川市一般会計予算は、歳入では総額155億8千700万円となります。歳出を事業ごとに見ますと、

防災体制を充実するため、駅南特定土地区画整理地内において、防災行政無線を増設し、

アルファ米や毛布などの災害用備蓄物資の購入が拡大されております。さらに、子どもたちの安全・災害時の避難場所として学校の耐震化が必要とされておりますが、今年度、

三輪野江小学校と南中学校の体育館の耐震診断調査、並びに三輪野江小学校の校舎の耐震補強、大規模改修工事設計に着手されることは大いに評価しております。

また、入院に係る乳幼児医療費の支給を中学校卒業まで拡大されたことについても評価をしております。

障がい者の施設の充実については、さつき園に替わる吉川第2フレンドパークの開設が待ち望まれておりますので早期設置に努めるよう願います。

次に、都市計画道路、越谷吉川線や三郷流山線の県道の整備につきましては引き続き県への働き掛けをお願いいたします。また、生活道路の舗装と道路改良の促進につきましては、新栄地内の工事費が大幅に増額されております。

ラップーカードの増額に対する補助が予算化されており切れ目ない景気対策でこの難局を乗り越えるよう願います。

新駅の早期設置に向け、魅力的なまちづくりを期待しています。

以上の点を申し上げ賛成討論といたします。

以上を申し上げます。

平成21年第2回(6月)	
定例会	予定会
○6月2日(火)	開会
○6月4日(木)	議案審議
○6月11日(木)	委員長報告
○6月12日(金)	一般質問
○6月15日(月)	一般質問
○6月16日(火)	閉会

◀平成21年度特別会計等予算▶

国民健康保険特別会計	62億7,311万8千円	後期高齢者医療特別会計	2億8,494万円
下水道事業特別会計	19億1,016万2千円	水道事業会計	
老人保健特別会計	1,353万6千円	収益的収入	14億2,939万6千円
農業集落排水事業特別会計	3,490万2千円	収益的支出	13億7,416万2千円
介護保険特別会計	22億1,297万8千円	資本的収入	5億675万3千円
		資本的支出	12億3,470万7千円